

StorageTek Virtual Storage Manager System

VSM コンソールセキュリティーガイド

E79957-01

2016 年 9 月

StorageTek Virtual Storage Manager System
VSM コンソールセキュリティガイド

E79957-01

Copyright © 2016, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション (人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む) への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性 (redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、Oracle Corporation およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle および Java はオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel、Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様と Oracle Corporation との間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporation およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様と Oracle Corporation との間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporation およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

目次

はじめに	5
対象読者	5
ドキュメントのアクセシビリティについて	5
1. 概要	7
製品の概要	7
一般的なセキュリティ原則	10
ソフトウェアを最新に維持する	10
クリティカルなサービスへのネットワークアクセスを制限する	10
認証	10
最小特権の原則に従う	10
システムアクティビティをモニターする	11
最新のセキュリティ情報を確認する	11
2. セキュアなインストール	13
3. セキュリティ機能	15

はじめに

このドキュメントでは、Oracle の StorageTek Virtual Storage Manager VSM コンソールのセキュリティー機能について説明します。

対象読者

このガイドは、VSM コンソールのセキュリティー機能の使用およびセキュアなインストールと構成に関与するすべてのユーザーを対象にしています。

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>) を参照してください。

Oracle Support へのアクセス

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Support を通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>) か、聴覚に障害のあるお客様は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>) を参照してください。

第1章 概要

このセクションでは、製品の概要を示し、アプリケーションセキュリティの一般原則について説明します。

製品の概要

StorageTek Virtual Storage Manager (VSM) System 6 および 7 と Virtual Storage Manager コンソール (VSM コンソール) により、zOS コントローラシステムがない場所にすべての VSM アプリケーションを配置できる共通プラットフォームが提供されます。VSM コンソールは、Oracle のハードウェアおよびソフトウェアスタックで構成されます。VSM コンソールは、Solaris 11.3 で実行されるアプライアンスとして T5-2 サーバー上で提供されます。そのアプリケーションは、カスタマイズされた仮想テープ制御ソフトウェア (VTCS)、自動カートリッジシステムライブラリソフトウェア (ACSLs)、および VSM グラフィカルユーザーインターフェース (GUI) で構成されています。VSM コンソールアプライアンスのアプリケーションは事前にインストールと構成が完了しているため、サイトレベルのわずかな構成を行うだけで製品を顧客の管理対象テープ環境に統合できます。このアプライアンスは、顧客によるシステム管理の必要性を除外するように設計されています。

注記:

システムの保守および構成変更の管理は、認定を受けた Oracle 担当者だけに許可されています。

VSM コンソールは、VSM ソリューションの 1 コンポーネントです。

主要サブシステムには次が含まれます。

VTSS ハードウェアおよびソフトウェア

VSM 6 および VSM 7 VTSS は、FICON インタフェース経由での IBM MVS、VM、および zLinux ホストへのエミュレートされたテープ接続、実テープドライブ (RTD) への FICON 接続、およびほかの VTSS および VLE への TCP/

IP 接続をサポートします。FICON は、IBM が推進する CPU (zOS) とデバイス間のチャンネルプロトコル標準です。

エンタープライズライブラリソフトウェア (ELS) および仮想テープ制御ソフトウェア (VTCS)

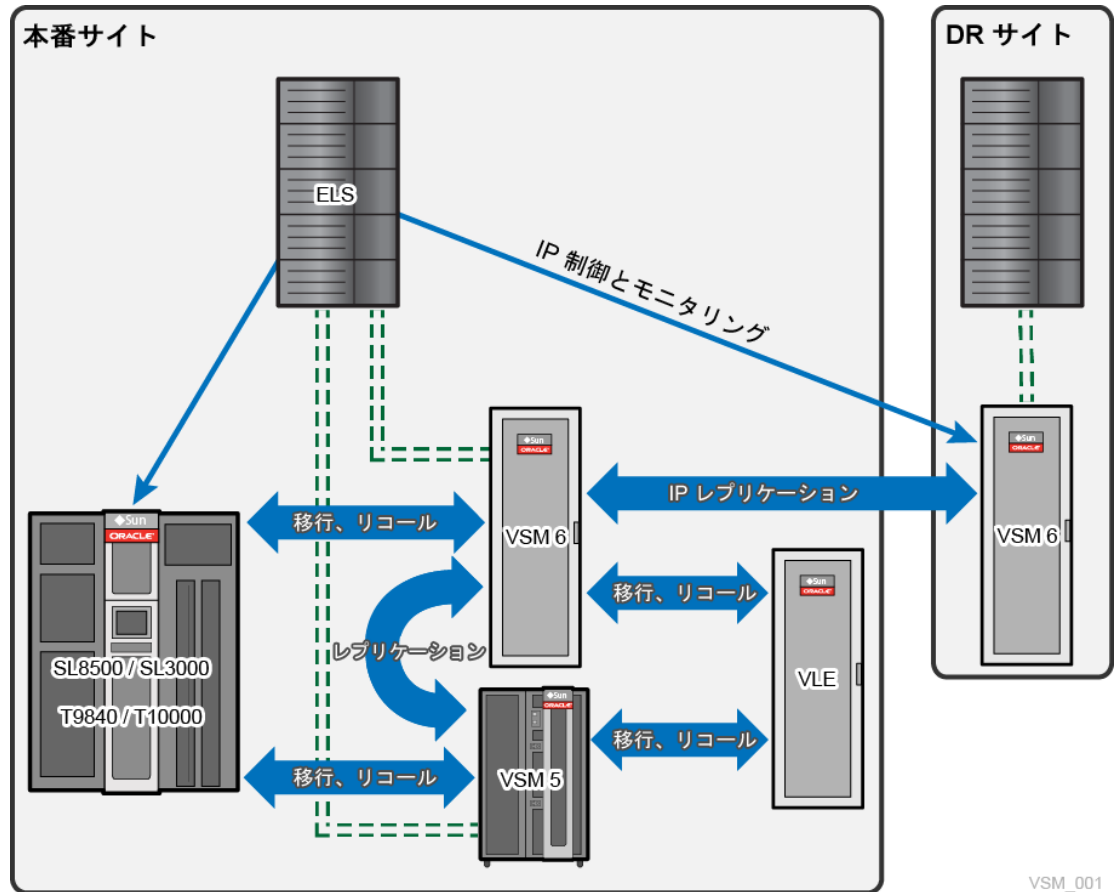
ELS は、VTSS の有効化および管理を行う StorageTek メインフレームソフトウェアの統合スイートです。MVS システムを使用する場合、ELS 基本ソフトウェアは、ホストソフトウェアコンポーネント (Host Software Component、HSC)、ストレージ管理コンポーネント (Storage Management Component、SMC)、HTTP サーバー、および仮想テープ制御ソフトウェア (Virtual Tape Control Software、VTCS) で構成されます。

VTCS は、VTSS サブシステムでの仮想テープイメージの作成、削除、レプリケーション、移行、およびリコールを制御し、VTSS サブシステムからレポート情報を取得する ELS コンポーネントです。

VTCS は、顧客の z/os システム上または VSM コンソールに組み込みで実行できるようにになりました。

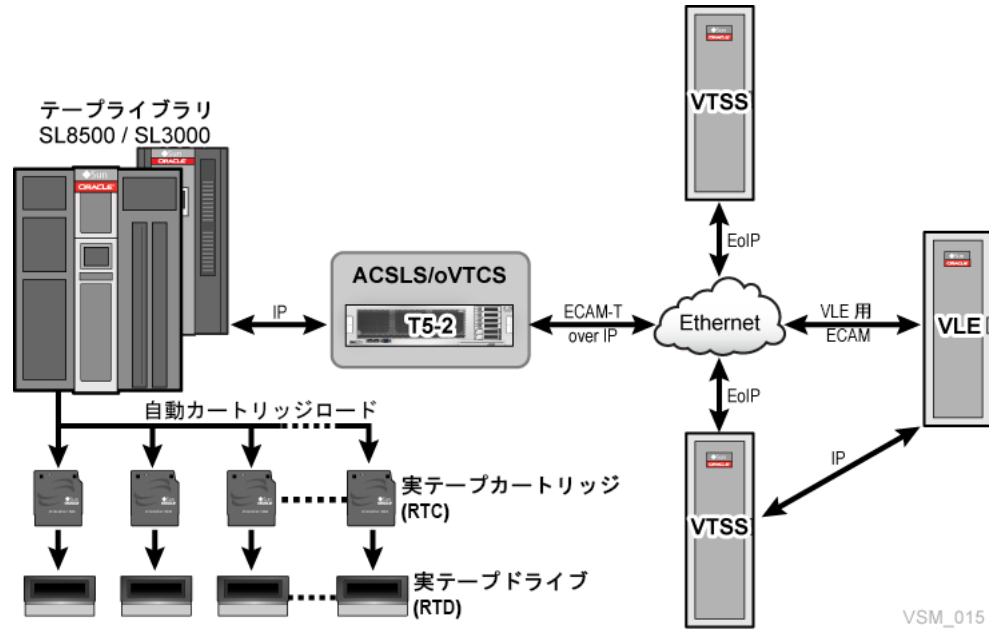
仮想ライブラリ拡張 (VLE) ハードウェアおよびソフトウェア

仮想ライブラリ拡張 (VLE) サブシステムは、VTSS の仮想テープボリューム (VTV) コピーの移行およびリコール用のセカンダリストレージとして機能します。VLE は、VTSS に IP で接続されます。



VSM_001

MVS システムが存在しない場合は、VSM コンソールソリューションが使用されます。HSC コンポーネントは内部の ACSLS アプリケーションに置き換えられ、VTCS アプリケーションの VSM コンソールポートが使用されます。



一般的なセキュリティ原則

すべての製品をセキュアに使うために、次の原則が重要になります。

ソフトウェアを最新に維持する

アプリケーションソフトウェアおよびシステム更新は、認定を受けた Oracle 担当者がインストールします。

クリティカルなサービスへのネットワークアクセスを制限する

アプライアンスは、承認された顧客従業員または代理人および Oracle サービス担当者にアクセスが制限されている、物理的にセキュアな場所に設置してください。システムは、ファイアウォールの背後でネットワークに接続します。

認証

承認された担当者だけがシステムにアクセスできるようにします。パスワードは、顧客サイトへの配備時に変更してください。

最小特権の原則に従う

VTSS 以外のユーザーアカウントは許可されていません。システムの保守および管理には、既存のアカウントだけが使用されます。

システムアクティビティをモニターする

システムのセキュリティには、優れたセキュリティプロトコル、適切なシステム構成、およびシステムのモニタリングという3本の柱があります。監査を行い、監査レコードを確認することで、この3番目の要件に対応します。

最新のセキュリティ情報を確認する

Oracle では、ソフトウェアおよびドキュメントを絶えず改善しています。毎年このノートのリリースでリビジョンを確認してください。

第2章 セキュアなインストール

VSM コンソールアプライアンスには、すべてのアプリケーションコードが事前にインストールされています。

お客様のデータはすべて、お客様の環境に現在インストールされているレガシーシステムとの相互通信の優位性を含む独自形式で圧縮および送信されます。IP 通信は、IP インフラストラクチャーに組み込み済みの暗号化を提供するプライベートな専用ネットワーク上で行います。

第3章 セキュリティー機能

VSM コンソールアプライアンスでは、構成可能なセキュリティー機能は提供されていません。

